

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	2	3	事務事業名	衛生管理事務	細事務事業名	健康診断事務	公的関与	1	シート作成日	平成30年6月29日								
	課名	総務課		グループ	人事	担当課長名	佐藤文彦	シート作成者名	後藤浩幸									
事業区分	○ 1 ソフト事業		○ 3 整備事業		○ 5 施設の管理運営		事業運営方法	□ 1 直営		□ 3 全部委託								
	○ 2 施設の建設		● 4 経常的事務事業					☑ 2 一部委託		□ 4 補助等								
総合計画	政策目標	7 該当なし			実施計画		事業の開始・終了											
	施策項目				○ 1 該当		年度 ~ 平成		年度 ☑ 期間設定なし									
	主要施策				● 2 非該当		根拠法令等		労働安全衛生法、弥富市職員衛生管理規程									
個別計画																		
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)													
	一般職の職員及び常時勤務することを要する特別職の職員等				職員の健康を確保することにより、健全な職場環境及び幸せな家庭環境の形成を目指します。そのため、定期的な健康診断を実施し、生活習慣病の早期発見、病気の予防を図ります。また、ストレス状況について気付きを促し、個人のメンタルヘルス不調のリスクを低減させるため、ストレスチェックを実施します。													
事業の内容	①健康診断の実施(労働安全衛生規則で定める項目及び衛生管理者が別に定める検査項目) ・人間ドック(原則、35歳以上) ・健康診断(35歳未満) ②ストレスチェックの実施(厚生労働省が推奨する調査項目)																	
	成果指標	①	指標名	職員の健康診断受診率				②	指標名	職員のストレスチェック受検率								
指標設定の考え方			生活習慣病の早期発見、病気の予防を図るため、対象となる全ての職員を受診させます。			単位	%		指標設定の考え方	ストレス状況について気付きを促し、メンタルヘルス不調のリスクを低減させるため、受検率の向上を図ります。			単位	%				
平成 28 年度			平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		平成 ※ 年度	目標平成 30 年度								
実績			100	実績	100	目標	※		目標	100	実績	89.4	実績	93.0	目標	※	目標	90.0
目標			100	目標	100	目標	※		目標	100	目標	90.0	目標	90.0	目標	※	目標	90.0
予算費目	会計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	人事管理費					
直接事業費			平成 28 年度決算額			平成 29 年度決算額			平成 30 年度予算額									
	国・県支出金			千円			千円			千円								
	地方債			千円			千円			千円								
	その他特定財源			千円			千円			千円								
	一般財源			2,942 千円			3,145 千円			3,735 千円								
計(A)			2,942 千円			3,145 千円			3,735 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費			0.146 人			0.146 人			0.146 人								
	臨時職員工数・経費			0 千円			0 千円			0 千円								
	全体事業費(A+B)			3,949 千円			4,152 千円			4,742 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価						
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	職員の健康管理は、良質な行政サービスを提供するためには必要不可欠です。また、メンタルヘルス対策について今後さらに必要性が求められます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	定期健康診断の法定必要検査項目を満たしています。また、厚生労働省が推奨する調査項目によりストレスチェックを実施しました。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		全ての職員がいずれかの医療機関で健康診断を受診できています。また、ストレスチェックについて概ね受検することができました。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	特定保健指導のあり方について見直す必要があります。また、ストレスチェックの実施目的について、職員へ周知徹底を図る必要があります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A				
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	特定保健指導に該当した職員が、指導を受けやすい環境づくりをする必要があります。また、ストレスチェック制度に対する職員の理解を深める必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	特定保健指導の受診率を高めるため、引き続き市町村共済組合を通じて年3回程度指導窓口を設けます。また、ストレスチェックを受検しなかった職員について原因分析を行い、制度に対する不安材料を払拭するための周知を図ります。					生活習慣病等を予防するため、特定保健指導の受診率を高めていく取り組みを強化していく必要があります。								
	備考														